

# 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2023年1月27日  
脳神経内科

現在、脳神経内科では、「病理学的に確定診断された多系統萎縮症及び脊髄小脳変性症における頭部 MRI のホットクロスバンサイン解析」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2010年1月から2022年10月までの期間に当施設で死後の解剖を受けられた多系統萎縮症患者さんと2006年8月から2022年10月までの期間に千葉大学医学部附属病院で遺伝子検査を受けられた遺伝性脊髄小脳変性症患者さん、2017年6月から2022年10月までに国立精神・神経医療研究センターで遺伝子検査を受けられた脊髄小脳変性症患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

## 1. 研究課題名

「病理学的に確定診断された多系統萎縮症及び脊髄小脳変性症における頭部 MRI のホットクロスバンサイン解析」

## 2. 研究期間

2023年承認日～2023年7月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を得て実施するものです。

## 3. 研究の意義・目的

死後の解剖により病理学的に確定診断された多系統萎縮症患者さんと遺伝性脊髄小脳変性症患者さんの頭部 MRI データを利用し、多系統萎縮症診断におけるホットクロスバンサイン（十字の異常信号）という頭部 MRI 所見が疾患の診断に有用かどうかを調査することで今後の正確な診断に役立てるとともに、ホットクロスバンサインと病理所見（細胞や組織にみられる特徴）との対比を行い、多系統萎縮症の病態解明に役立てます。

## 4. 研究の方法

2010年1月から2022年10月までの間において当院で死後の解剖受けられた多系統萎縮症患者さんと2006年8月から2022年10月までの期間に千葉大学医学部附属病院で遺伝

子検査を受けられた遺伝性脊髄小脳変性症患者さん、2017年6月から2022年10月までに国立精神・神経医療研究センターで遺伝子検査を受けられた脊髄小脳変性症患者さんについて、頭部MRIのホットクロスバンサインを解析します。その他、性別、生年月、身長、体重、合併症、既往歴、現病歴、自覚症状、神経学的診察所見などの診療情報、剖検病理所見を利用します。

## 5. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名や患者IDなど特定の個人が識別できないような研究用IDを付与して管理し、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院脳神経内科医局解析室の鍵のかかる保管庫で保管します。

## 6. 外部への試料・情報の提供

研究用IDを付与したデータは千葉大学大学院医学研究院に郵送あるいは電子的配信を行います。研究用IDと氏名を一致させるための対応表は、当科の研究責任者が保管・管理します。

## 7. 研究組織

千葉大学大学院医学研究院 杉山 淳比古

千葉東病院 武田 貴裕

国立精神・神経医療研究センター 高橋 祐二

美原記念病院 美原 盤

東京都立神経病院 林 健太郎

愛知医科大学加齢医科学研究所 陸 雄一

Mayo Clinic 古賀 俊輔

## 8. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

**研究実施機関** : 千葉大学医学部附属病院 病院長 横手 幸太郎

**本件のお問合せ先** : 医学部附属病院脳神経内科

医師 杉山 淳比古

043（222）7171 内線5414

**研究代表機関** : 千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学  
**研究代表者** : 杉山 淳比古

文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。